

令和6年度予算編成方針

令和5年10月 酒田市長

1 基本的な考え方

酒田市は現在、様々な課題に直面しています。例えば、あらゆる分野における担い手不足、空き家の増加、小売店の閉鎖によるいわゆる「買物弱者」の課題、法人立保育所等の経営難、学校の統廃合など、多くの課題がありますが、それらの根底にある原因は、急激な人口減少です。

そして、酒田市を含む地方都市における人口減少の原因は、若い人、特に男性よりも女性の方が多く都会に出て行くことにより、地方都市における若い女性の結婚が減り、その結果、その地域で生まれる子どもの数が減っていることであると、多くの専門家から指摘されています。

さらに、若者が地方都市から都会へ出ていく原因は、やりがいをもって働ける仕事、所得の高い仕事が地方都市では見つけにくいといったことがあげられます。

このような現状分析により、様々な課題の根本原因である人口減少をできる限り抑制しながら、人口が減少したとしても豊かに安心して暮らすことのできるうちに酒田市を創りかえていくことを目指すものです。

また、市の最上位計画である総合計画後期計画を全職員が十分に理解したうえで、その目的を意識し、市民の生活を守り豊かにするために、市民の課題を幅広く把握する視点に立ち、日々の業務に取り組む必要があります。

その上で、酒田市総合計画後期計画に掲げる「めざすまちの姿」を実現するため、メリハリのある投資をして施策を展開することが重要であり、次の4項目を「重点化する取組み」として、令和6年度の予算を編成します。

2 重点化する取組み

(1) 市民所得の向上を図り、人口減少をできる限り緩やかに

人口減少を抑制するため、良質の雇用を創出し市民所得を向上させる取組みを強化します。特に、デジタル関連及び再生可能エネルギー関連の企業の集積を図り、脱炭素社会の構築に資する取組みを促進します。また、「外貨」を稼ぐ観光・輸出を促進するとともに、地元企業・農林水産業者の稼ぐ力を向上させる取組みを強化します。産業の基盤となるインフラ整備の取組みを強化します。

(2) 働きたいと考える全ての市民が働くことのできる環境の整備

生産年齢人口の減少を補完するため、女性・高齢者・障がい者など、働きたいと考える全ての市民が働くことのできる環境の整備と、企業や家庭、地域における仕事や家事等に対する意識の啓発を図る取組みを強化します。また、省

人化に資するデジタル変革の取組みを引き続き強化します。

(3) 人口が減少しても、豊かに安心して暮らせるまちに

子育て・教育・福祉・医療・都市環境・防災・地域コミュニティ等あらゆる面から、人口が減少しても安心して生活できるまちにするための取組みを強化します。

(4) 市民の幸せ（ウェルビーイング）を実現する酒田市役所

人口減少下でも市民の幸せ（ウェルビーイング）の実現を目指して機能する行政の仕組みづくりを強化します。施策に若者の意見を反映する取組みや庄内全域で行政が連携・協力するための取組みを強化します。

3 行政評価（外部評価）の反映について

予算要求にあたり継続する事業も含め、改めて評価、見直しをするなど、行政評価（外部評価）の結果を反映すること。